徳島大学教職員労働組合からのお知らせ
（メルマガ Vol.95）

みなさんこんにちは。徳島大学教職員労働組合です。すでにご承知のとおり、今年度末での学長の任期切れに伴い、現在、新学長の選考過程が進められております。

これまでに 2 名の先生が学長候補者として立たれ、それぞれに所信・抱負等が学内に公表されています。

今週金曜（25 日）17 時より、「候補者の所信・抱負を聞く会」が新蔵地区・日亜会館講義室にて開催され、その模様は常三島地区（けやきホール）、蔵本地区（長井ホール）に中継される予定となっております。

★大学 HP の選考情報はこちら↓
http://gakunai.tokushima-u.ac.jp/univonly/gakutyosenko/

【学長候補者よりの回答】

組合では、「所信等を聞く会」での議論の参考にするべく、両候補者に質問状をお送りし、21 日（月）にご回答を得ました。

候補者自身による所信等に加えて、学内教職員の関心に即した「同じ質問」に、両候補者それぞれにお答えいただくことで、教職員はよりよい判断ができるものと考えます。質問状は、組合執行部で原案を作成し、組合員の意見等を加味して決定しました。

両候補者の先生におかれましては、お忙しい中、丁寧なご回答をいただきまして、ありがとうございました。

★質問状はこちら↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20190924questions.pdf
★西村教授よりの回答↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/201901021nishimura_answer.pdf
★野地現学長よりの回答↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20191021noji_answer.pdf
（50 音順）

民主的な選挙による代表者の選出の理論的基礎は、「理性的判断力を持った構成員が、十分に情報を与えられたうえで下した判断は、平均して 50%を超える確率で正解だと考えられる。それゆえ、多数の理性的判断者による多数決の結果は正しい」というものです。意向調査の有権者のみなさまにおかれましては、十分な情報を踏まえて、理性的な判断による投票をお願いいたします。

【学長選考会議への申し入れ】

昨今、政府は「大学改革」の一環と称して、学内意向調査をやめるように、各大学に圧力をかけております。現在までに、意向調査を取りやめた大学が複数あります。

また、意向調査の結果、2 位や 3 位となった候補者が学長になる事例が相次いでおります。学内の広範な支持を受けない学長は、円滑な大学運営を行うことができない

おそれがあります。

　そうした状況に鑑み、組合は学長選考会議の委員各位に対して、「学内意向調査の結果の尊重について」という文書を送付しました。

★「学内意向調査の結果の尊重について」文書↓
http://tokushima-u-union.in.coocan.jp/document/20191003vote.pdf

【組合加入のお願い】

組合では、政府主導の「大学改革」が強引に進められている状況にあって、よりよい大学のあり方を実現していくために活動を続けています。無理な「改革要求」に対応するためのアイデアを、大学側と一緒に考えていく場面も多々あります。

また組合に加入しておられないみなさまにおかれましては、ぜひ組合にご加入いただき、みなさまの声をもとに、よりよい大学が実現されるように、お力をお貸しください。

加入申し込みやお問い合わせは、このメールに返信いただけば結構です。

徳島大学教職員労働組合

★組合ウェブサイトはこちら。